

●とびつくす●

令和6年度分：建築士としての社会的活動団体募集事業の選考会結果

～ 建築士会の公益目的活動「建築士の社会的活動助成事業」～

事業貢献委員会

令和6年度の「建築士としての社会的活動団体募集事業」選考会結果です。

<選考会日程>

日時：令和6年3月5日(火)、13:30～14:30

場所：徳島県建築士会 会議室

<出席選考委員>

坂口敏司（建築士会会長）

島田めぐみ（事業貢献委員長）、岸田徳明（同副委員長）、

矢部洋二郎（同担当副会長）

<選考内容>

令和5年度選考会結果(まちかど5月号:ほつとにゅーす)でも案内したとおり、建築士会の収支は今のところ健全に推移しているものの事業収入は年々減少傾向にあり、今後は更に厳しくなると予想されています。

このため、当募集事業もスリム化に取り組む必要があり、令和5年度から次の方針へ修正致しました。

- ①（継続年数に関係なく）すべての事業を同列に扱う。
- ②助成額は、1事業あたり20万円を上限とする。
- ③事業費の不足が見込まれる場合は、各団体で協働者を募集する、あるいは活動団体助成事業の募集に応募する（例：日亜ふるさと振興財団による募集）等の財源獲得策を工夫する。
- ④事業予算総額100万円程度とする。
- ⑤各地域会からの応募を期待する。
- ⑥新規事業・新規参加者へと活動の輪を広げることをめざす。

以上の方針に則り、選考にあたっては応募のあった各事業の活動内容・収支計画の妥当性・活動主体メンバーの属性・社会貢献活動としての成果見込、等を考慮して厳正に実施いたしました。

尚、事業募集時に提示していた条件のうち「新規事業・新規参加を促す観点から、事業継続年数におよそ3年～5年の制限を設ける」については、選考委員による協議の結果、「地域における貢献活動として定着しており地域社会からも期待されている」等の事情を勘案し、今回は条件から削除しました。(ただし、次年度以降においては継続年数の制限について改めて協議する予定です。)

<選考結果>

採択事業名	助成額
将来住みたい家 絵画展 (21年目) (美馬地域会)	140,000

建築士会の出前授業 (19年目) (三好地域会)	75,000
お菓子の家をつくろう (16年目) (建築士会お菓子の家をつくろう)	140,000
LED イベント (17年目) (建築士会 LED クラブ)	100,000
木育住育出前授業 (10年目) (阿南・那賀地域会)	140,000
高齢期に備えた住まいの改修の大切さを学び備える啓発活動 (4年目) (バリアフリーデザイン研究会)	100,000
まちの緑が輪プロジェクト (4年目) (建築士会シニア部会他)	100,000
まもりかべ (初) 株式会社アズマ建設・まもりかべ	140,000
地震被災住宅の復旧を検討する会 (初) (地震被災住宅の復旧を検討する会)	100,000
計	1,035,000

<選考会での意見>

新規事業を含む多くの事業の応募があり、建築士会のPR・社会的役割の実現に貢献いただけることに選考委員一同感謝致します。そのうえで、以下の指摘事項がありましたのでご留意ください。

1. 事業予算が減少した上に応募件数が多く、予算内に収めるために全ての応募事業の事業費要求額に対して助成額を削減した(約50%～30%)。各団体には、今後の事業継続のためにも外部からの活動予算獲得を積極的に検討していただきたい。(各種財団や企業、自治体の助成制度の公募期間は各々異なっており、事前の情報収集と計画的な準備が必要。)
2. 長期にわたり同じ地区で実施されている事業については、成果の波及効果や公益性等を勘案して別地域での実施を検討してほしい。
3. 複数年に渡り継続して実施している事業は、過去年次に使用した資材の有効活用等により事業費の削減に取り組んでほしい。
4. 社会貢献として有意な事業を今後も継続していくためには、参加費を徴収する(既に徴収している場合は値上げする)こともやむなしでは。また、協働している官公庁などとの協議により公的資金の導入を働きかける等の努力を期待する。 以上。

●地域会だより●

4年間での徳島地域会活動について

徳島地域会 岸田 徳明

2020年5月から2024年5月までの任期でしたが、地域会長としての4年間の総括として今回寄稿させていただきます。

皆さんもご存じの通り、この4年間はコロナ禍による行動制限から始まり、2020年東京オリンピックの延期、ロシアによるウクライナ侵略、今年1月1日の能登半島地震と4年間では考えられない程の未曾有の事態が起こってしまいました。

建設業界でもウッドショックによる木材不足、建材の価格高騰など大きくこれまでの仕事内容を変更する事を余儀なくされた方も少なくないと思います。

地域会活動でも、この期間は様々な困難がありながらもみんなで工夫し、対策を講じて出来るだけ事業を開催出来たと思っています。私が印象的な事業を代別で表しますと

2020年（令和2年度）

コロナ禍による阿波踊り中止他各事業の中止

2021年（令和3年度）

県外研修旅行（広島）

2022年（令和4年度）

町屋再生プロジェクト「あきや de マルシェ」

徳島市阿波踊りまちなみ連参加

第1回新入会員歓迎お餅つき&バーベキュー大会

県外研修旅行（直島）

2023年（令和5年度）

出羽島での土間タタキ体験事業

県外研修旅行（淡路島）

など一部ではありますが書き出してみました。



「あきや de マルシェ」では300人を超える来場者、青年部主催の「第1回お餅つき&バーベキュー大会」は事前に餅つきの予行練習を行う念の入れようでした。



個人的には今年度参加した夏出羽島での土間タタキでした。灼熱の中の作業は大変きつかったですが、作業後のビールは最高でした。

映画「ショーシャンクの空に」でモーガン・フリーマン達が褒美に飲んでいたビールの味を体験したい方は超お勧めです。



最後に徳島地域会長としての任期中、多くの方々と出会い、皆様の協力とサポートがあったからこそ、私たちはさまざまな活動を成功させることができました。

これからも建築士としての使命を果たすために、会員の皆様と共に歩んでいきたいと思っています。

地域会の発展と建築士の成長を願っています。会員の皆様に感謝の意を表しこの原稿を終わりたいと思います。

●あなたが出番●

実は私、予備自衛官なんです

川島地域会 松下 誠

私は建築板金業を営んでいます。建築士の方ならご存知と思いますが、鉄板屋根や外壁雨といの工事を請負っています。その傍ら、私は陸上自衛隊の予備自衛官という任務もっています。准尉という階級で全体でいうと丁度真中くらいの階級になります。

予備自衛官とは、防衛招集命令、国民保護等招集命令及び災害召集命令を受けて自衛官となり、第一線の部隊が出動した後の駐屯地の警備、後方支援、第一線部隊の補充等、避難住民の救護・誘導等、災害救助活動の任務にあたります。直近では、元日に発生した能登半島地震にも約200人の予備自衛官等（予備自衛官・即応予備自衛官）が招集され活動しました。

さて、そもそも私の自衛官としての始まりは、少し変わっています。中学を卒業して、神奈川県横須賀市にある陸上自衛隊少年工科大学（現在は陸上自衛隊高等工科大学）という自衛隊の教育機関に入校しました。全寮制の男子校で、高等学校の授業も受けつつ自衛隊の技術陸曹に必要な教育を受けるという学校です。日本全国に一つしかない学校で、南は沖縄から北は北海道まで300人の同期生がいました。何回か全国版のテレビでも紹介

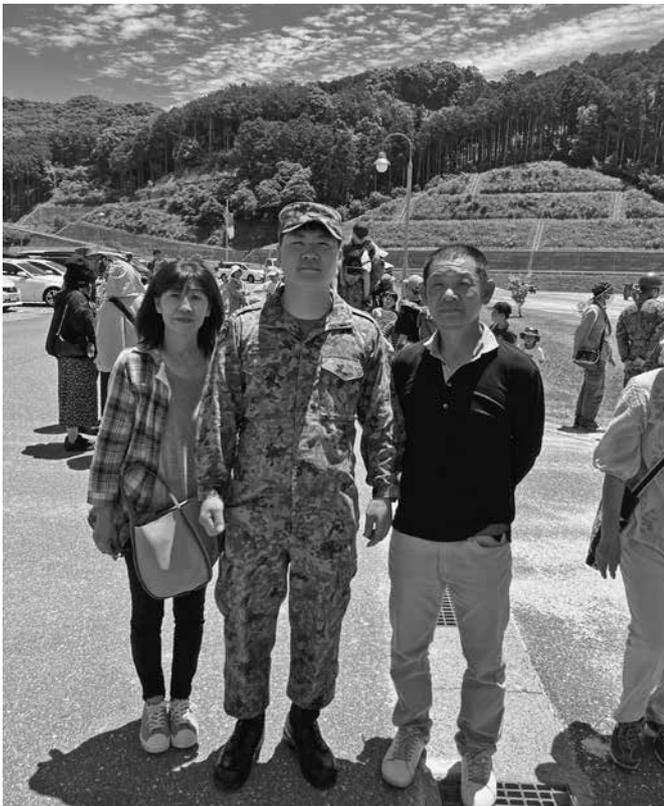
された事があります。当時の話をしますと、とてもじゃないけど原稿が足りませんのでやめておきまして、その学校を卒業して東京の部隊で2年間勤務しました。

ずっと自衛隊で頑張るつもりでしたが、21歳の時に父親が体調を崩してしまいやむなく徳島に帰ってきました。その際、お世話になった自衛隊に何らかの形で恩返ししたいと思い、予備自衛官として志願しました。

あれから36年間、毎年5日間の訓練を受けに香川県にある善通寺駐屯地か、高知県にある高知駐屯地に行っています。どんな訓練を受けるかといいますと、基本教練（敬礼、直れや右向け右などの自衛隊の基本動作）、体力演練、実弾射撃は必須訓練で、その他、通信訓練、救急法、防護マスク装着の訓練とかもあります。さすがに私も57歳という年齢になって、時々体力的にきついと思うときもありますが、63歳の定年まで頑張ってみようかなと思っています。

考えたくはありませんが、もしその6年間の間に南海トラフ地震が起きるような事があれば、私も自衛官として招集されるでしょうし、その覚悟はできているつもりです。ですが、災害もない、有事もない平和を一番願っています。

余談ですが、私の次男は高知駐屯地で3等陸曹として勤務しています。私が訓練に行ったときには、駐屯地内で唯一お酒の飲める隊員クラブという酒場で一杯酌み交わしたりしてます。私が、迷彩服を着て実際訓練をしている写真、特に実弾射撃をしている写真とかを掲載できればいいのですが、何せ国家機密事項？なのでちがう写真でご容赦ください。



●士会だよりー本部●

令和6年度一級/二級/木造建築士定期講習について

今年度対象の方は前回の受講年月日が令和3年4月1日から令和4年3月31日の方になります。

今年度より紙での申込みがなくなり、インターネットでの申込みのみとなりました。

インターネット申込みが、どうしても行えない方は会員サービスとしてサポートさせていただきますので、ご連絡ください。

※建築技術教育普及センターで受講の方のみの対応となることを、ご了承くださいませようお願いいたします。

住宅課建築指導室

室長 美野 英司
係長(指導・宅建担当) 尾形 圭一
同 三谷 彰

東部県土整備局

局次長 大和 研二
(徳島庁舎) 係長 十時 一
(吉野川庁舎) 係長 川原 賢史

南部総合県民局

課長補佐 美馬本昭二
係長 滝下 裕子

西部総合県民局

(美馬庁舎) 係長 江本 泰英
(三好庁舎) 主査兼係長 福田 正志

●士会だよりー広報渉外委員会●

建築士の日

先月もお知らせしましたが、7月1日の「建築士の日」を記念した事業の詳細が決まりましたのでお知らせします。

本会では、今年も「SDGsと建築」をテーマに講演会を計画しています。

SDGsは、持続可能な未来のために世界が目指している処方箋です。

多くの資源とエネルギーを消費することが宿命づけられている建築は、そもそも持続可能な社会においては必要悪なのでしょうか。建築に携わる者は、どうすれば「SDGsを実践しています」と胸を張ることができるのでしょうか。

CLT建築の実例などを通して研修しましょう。

と き 6月29日(土) 14時~16時30分

ところ 木材利用創造センター大会議室

テーマ 木をめぐる循環型社会への提言及びCLT建築の実例など

講師 銘建工業 中島浩一郎氏

建築家 横畠 康氏

●行政だよりー徳島県●

徳島県建築行政関係職員名簿

都市計画課

主査兼係長

大塚 貴久

●行政だよりー徳島市●

建築行政関係職員名簿

4月1日の人事異動により次の者が着任しました。

建築指導課長 大澤 賢次

建築指導課長補佐 長谷部 亮

〃 中西 量宏

指導担当係長 太田 英明

審査担当係長 谷井 恵美

〃 榎野 孝則

開発担当係長 上田 諭志

編集後記

- ・近所の新築住宅は黒っぽい外壁の家が多い。しばらく前はツートンに塗り分けた家が多かったように思うのだが、流行でしょうか。(ノーリツ号)
- ・ウチも黒でツートン。(ひとはたうさぎ)
- ・ウチは白です。(ぺべい)
- ・いい季節になりましたねGWも楽しみですね。(87番)

建築士会本部行事

令和6年5月	令和6年6月
8日(木) 建築相談 (士会会議室)	1日(土) 第73回通常総会(予定) (阿波観光ホテル)
11日(日) 徳島地域会総会 (建設センター)	6・8日 中四国ブロック青年・女性建築士の集い広島大会 (広島県)
14日(水) 会計監査・理事会 (士会会議室)	12日(木) 建築相談 (士会会議室)
22日(木) 建築相談 (士会会議室)	13日(木) 監理技術者講習会 (士会会議室)
	26日(木) 建築相談 (士会会議室)
	27・28日 建築士会中国四国ブロック会 総会及び第1回会長会議 (広島県)

※ 木造住宅耐震相談は、平日の午後1時から午後4時まで実施しています。

※ 建築相談は第2・第4水曜日の午後1時・2時・3時(相談時間は1時間以内)に実施しています(要予約)。